

# 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.84)

## 1. 運転再開について

平成22年12月10日付豊田市からの指導を受け、平成23年の年始から豊田事業所施設の運転を停止し、「豊田事業所再生計画」に基づく総点検を実施してきました。

再生計画に基づく総点検の実施状況等について、2月2日に豊田市に報告するとともに、2月11日の豊田市PCB処理安全監視委員会においても説明を行い、3月3日に施設の総点検の結果等に対し豊田市のご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえ3月4日から運転を再開いたしました。

再開後は、豊田市、監視委員会および豊田市議会からいただいたご意見を踏まえ、これまで以上に安全に留意して処理を行うとともに、地域の関係者の皆様の信頼の回復に努めてまいります。

これまでご心配・ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、当施設の事業につきまして引き続きご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## 2. 3月および平成22年度の処理実績について

3月の処理実績と平成22年度(平成22年4月～23年3月)の処理総数は下表のとおりです。

種 別	23年3月の操業実績		22年度の操業実績	
	受入台数	ライン投入台数	受入台数	ライン投入台数
コンデンサ類	384 台	366 台	3,903 台	3,815 台
トランス類	大 型	3 台	34 台	34 台
	小 型	4 台	128 台	131 台
	車 載 型	3 台	22 台	22 台
廃PCB等	7 個	4 個	63 個	60 個
保管容器	0 個	0 個	10 個	10 個

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。

## 3. PCB廃棄物の4月の受入計画

平成23年4月の受入計画(予定)

種 別	受入台数	
コンデンサ類	124 台	
トランス類	大 型	4 台
	小 型	18 台
	車 載 型	3 台
廃PCB等	3 個	
保管容器	0 個	

4月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、愛知県内から42台、岐阜県内から71台、三重県内から11台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から20台、静岡県内から1台、三重県内から1台、車載型トランスは静岡県内から3台を受け入れる予定です。また、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から3個を受け入れる予定です。保管容器の受入予定はありません。

## 4. 少量保管事業者に対する説明会の開催



説明会の様子(名古屋市港区会場)

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で「PCB廃棄物処理説明会」を開催しています。

3月3日に名古屋市(中村区)、16日及び17日に名古屋市(港区)を対象に説明会を実施し、合わせて157社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、弊社から平成23年9月～11月の搬入予定期間に向けて、受入までに進めていただく契約諸手続き、事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、PCB廃棄物の処理を継続してまいります。

## 5. 安全への取り組みについて



地震訓練の様子



総合防災訓練の様子

### (1) 地震訓練

3月1日午後、震度6強(マグニチュード8.8)の地震が発生し、建屋の倒壊はなかったもののフード内の2箇所ですトランス油や洗浄溶剤が漏洩したとの想定で地震訓練を実施致しました。緊急地震速報システムを稼働させ、緊迫感のある訓練となりました。手順に基づき、緊急避難訓練、通報・連絡訓練、溶剤漏洩対策訓練、緊急時点検訓練等を行い、その手順を確認致しました。

おりしも 3月11日に大地震が発生し、改めて訓練の大切さを痛感致しました。

### (2) 総合防災訓練

3月25日の午後、豊田事業所の緊急時対応マニュアル及び消防計画に基づき、総合防災訓練を実施致しました。SD受入室にてSDが漏洩し発火、火災が発生したとの想定で、手順に基づき、初期消火訓練、避難・誘導訓練、通報訓練、SD漏洩拡散防止訓練、現場指揮訓練等を行い、その手順を確認致しました。

SDとは、PCBを無害化処理するための脱塩素化剤で水と反応するため、初期消火訓練(模擬)でも特殊な消火器やソーダ灰を使用しての消火方法を確認致しました。

### (3) 豊田事業所再生計画に基づく年間計画安全セミナーの開催

3月の安全セミナーは、第4回と第5回を予定どおり開催しました。

第4回は「JESCO発注仕様書による施設設計の考え方」をテーマに行われました。豊田処理施設を設計・施工する時の発注仕様書がどんなものであったかを知り、今後の施設運営に役立つセミナーです。

第5回は「施設の安全設計・セーフティネットの考え方」をテーマに行われました。豊田処理施設ではさまざまな安全設計がなされていますが、最後の砦であるセーフティネットの内容を改めて確認するセミナーです。

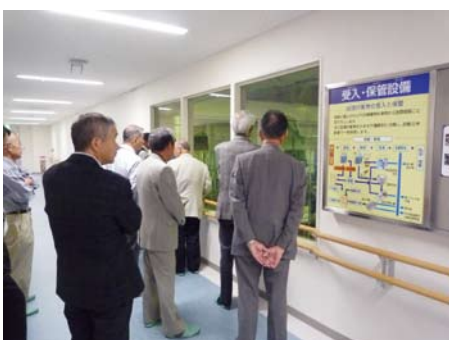


安全セミナー(第4回)の様子

## 6. 施設見学について

豊田市民の皆様をはじめ、行政、保管事業者、海外の研修者等多くの方々が豊田施設を見学され、PCB廃棄物の処理概要等について理解を深めていただいております。

平成22年度の見学者の実績は、下表のとおり計54団体、362名でした。



見学の様子

### 22年度の施設見学者数

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	計
団体数	13団体	20団体	13団体	8団体	54団体
見学者数	52名	100名	190名	20名	362名

施設見学のご要望は随時受け付けております。見学を希望される方は下記ホームページをご参照のうえ、豊田事業所総務課(0565-25-3110)までお問い合わせください。

【施設見学に関するアドレス】<http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/facility/tour.html>

### 問い合わせ先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>